

10/16(土) まいど! 倫理号です。皆々、おはようございます。今朝も朝起きまで5時頃目が覚め朝起きて、今会場で「今週の倫理」の感想を書き、仕事も忙しいので気持ちも張って今週にします。

2021. 10. 16~10. 22

今週の 倫理

10月のテーマ | 決断をする

1251号

幸せはアホ鳥

十月度一向「股関節」慣れないう病い深呼吸す

倫理法人会において、朝の学びの場である経営者モーニングセミナーの会場には、二つの標語が掲げられています。それは全国すべての会場で共通しています。

向かって右側には、参加者全員が必ず斉唱する「今日一日、朗らかに、安らかに、喜んで、進んで働きます」の誓いの言葉があり、左側には「朝起きは繁栄の第一歩」という標語が掲げられています。

特に今回注目したいのが、倫理運動の創始者・丸山敏雄が朝の勉強会を始めるにあたって昭和二十四年に制定した「朝起きは繁栄（再建）の第一歩」です。

経営者のN氏は、仕事の付き合いで倫理法人会に入会したものの、経営者モーニングセミナーはもちろんのこと、夜に開催される行事にも参加はしていませんでした。

ある時、N氏に倫理法人会を紹介した、当時の単体会長の誘いで、懇親会のみ参加することにしました。しかし、どういうわけか、その懇親会の参加者はN氏と会長、講師の三人だけでした。

懇親会の店では講師も会長もお酒は頼まず、食事だけ注文しました。N氏は、自分だけ飲むこともできず、同じものを注文すると、講師からこう告げられました。

「自分で食べる物も自分で決められなくて、よく経営者が務まりますね」

初対面の人に向かって発する言葉ではないだろう、と一瞬あつげにとられたN氏。その反面、本音を率直に言ってくれたことに講師の真心を感じ、それ以降、倫理法人



「朝起き」が 決断力と実行力を磨く鍵

会の活動に心と足が向くようになります。

経営者モーニングセミナーに参加していると、早朝の空気と共に、参加者の清々しい挨拶、きびきびした姿に身が引き締まるようでした。そして、会場前面には「朝起きは繁栄の第一歩」と掲げられています。

（なぜ早起きではなく、朝起きなのか）と疑問を抱くようになった頃、講師から「朝起き」についての講話がありました。

時間軸の中で早く起きるのが「早起き」であり、目が覚めた瞬間にサツと起きるのが「朝起き」であることを知ります。

さらに「目覚め」は大自然からの「起きよ」というメッセージであること、その大いなる気づきをどう扱うかがその日最初の決断となること、そして気づいた瞬間にサツと行動に移すことが経営者にとって重要な実践であることを知らされました。

N氏は「朝を制する者は人生を制す」という言葉は知っていましたが、自分には関係ないと切り離し、「会社の売上と利益を出しさえすれば人生の成功者」と考えるようになっていました。そうした利害関係を優先してしまう姿勢によって、友人と呼べる人もいなくなり、仕事を繋げていくためだけに毎晩、接待で出歩いていたのです。

N氏は「人生を豊かにし、会社を安定させるには、朝起きしかない」と確信し、夜型から朝型に生活を変える決断をします。

以後、朝起きの実践によって、日々の決断力と実行力が磨かれていき、N氏の人生も豊かになっていったのです。